



Title	利用学生の声 サイバーメディアフォーラム no.9 情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2008, 9, p. 40-42
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/70267">https://hdl.handle.net/11094/70267</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 利用学生の声

まずこの授業で大変だったことは、リナックスというパソコンを使うことでした。私は今までウィンドウズしか使ったことがなかったため、どうしてよいのか分からず、授業の説明の後をゆっくりついていくのが精いっぱいでした。しかし何度か授業を受けていくうちに、どんな種類のパソコンであってもおおまかな使い方や、使える機能は変わらないことに気がついたため、最近では抵抗感が少し減りました。ホームページ作りも初めてで、最初はとても難しそうに見えましたが、いくつかの作成方法を知っておけばあとは自分の好みで作っていくことができ、楽しみながら作成できました。最初の説明を聞いた時には、あまり凝ったものは作れないのかと思いましたが、実際は想像以上にバリエーションが豊富で、自分では満足いくものが作れたと思っています。この授業で私は、自分が今までなんとなくでしかコンピューターについて理解していなかったことに気づきました。また、今まで適当に操作していた事もよく分かったため、情報活用基礎の授業は、もう一度理解し直すことにとっても役に立っています。

\*\*\*\*\*

いままでWindowsのパソコンしか使ったことがなかったのも、すべてが新鮮でした。Linuxという言葉も聞いたことがなかったし、ちゃんと使えるかとても不安でした。でも、授業でとても丁寧に説明してくださったおかげで、なんとかLinuxのパソコンも緊張しないで使えるようになりました。システムの説明とかは難しかったけれど、いろんなことが知ることができてよかったです。

ホームページも作ったことがなくて、ホームページ作成の宿題が出たときはとても焦りました。すごく難しそうだし、自分で作れるか不安だったけれど、やっているうちに慣れてきて、最後は楽しんで作ることができました。

これからも、大学生活でパソコンを利用することは多いと思うので、この授業で学んだことを活かして上手にパソコンと付き合っていきたいと思います。

\*\*\*\*\*

今までマイクロソフト社のWindowsしか使ったことがなかったのも、最初はLinuxという機種に慣れるまでに時間がかかりました。しかし実習を通じてその特性についてしだいに理解できるようになりました。実習の内容は今までほとんど知らなかったことが多かったです。その中で最も興味深かったのはHTML形式でのホームページ作成でした。初めはタグを入力して作成していく方法がわかりにくかったのですが、ホームページを作成していくうちにその仕組みを理解し、自分の希望通りにできるようになりました。また著作権などの情報倫理についても守らなければならない重要な問題であると感じました。まだまだコンピュータに関してわからないことはたくさんありますが、コンピュータに関する正しい知識を習得して、自分で情報を処理していく能力を身に付けたいと思います。

\*\*\*\*\*

今までは家でも、高校の情報の授業でも、ウィンドウズのパソコンしか使ったことが無かったので、リナックスのパソコンがちゃんと使えるか、最初はとても不安でした。実際使い始めた頃は大体は同じでも、微妙に操作方法が違うので難しかったです。でも、授業をする度に少しずつ慣れていくことが出来ました。違う系統のパソコンに触ることが出来て、とても良い経験になりました。また、ホームページ作成では、高校の時は禁止されていた素材サイトからの持ち込みが出来たので、より自分の作りたいホームページに近づけることが出来ました。

リナックスに入っているペイント・ドローソフトは機能がとても多くて全部は使いこなすことは出来ませんが、普段塗るのが難しいグラデーションや模様などが簡単に出来て、楽しかったです。

次にやるプログラミングは高校でもやったことがなく、ちゃんと出来るか不安ですが、頑張りたいと思います。

\*\*\*\*\*

高校の時にもパソコンの授業はありましたが、パソコンはあんまり受験とは関係がないため中間テストと期末テストの期間の2週間前ぐらいからパソコンについての理論を習い、それについてテストをする形でした。そのためパソコンについてあんまり色々なことが習えなかったし、授業がほとんど理論の授業だったため理論的には分かりましたが、実際に実行することは出来なかったです。現在、パソコンは様々な場面で使われているので、わたしのパソコンについての曖昧な知識がいつも不安でした。でも情報活用基礎の授業を通じて理論だけでなく、理論を利用して実践する事が出来てすごくよかったです。授業中知らないことがあってもすぐにTAさんに教えてもらえるから授業について行けることもよかったです。この授業を通じてパソコンについて少し自信を持てるようになりました。

\*\*\*\*\*

私はこの授業に出るまで、パソコンではWindowsしか使ったことが無かったので、Linuxシステムというものの存在を知りませんでした。はじめは少し勝手が違って、使いにくいように感じましたが、授業で使用するなかで、LinuxでもWindowsとほとんど同じように使えるようになり、複数のシステムが使えるということで、少し自信を持てるようになりました。

\*\*\*\*\*

情報教育用システムを授業や自習で利用した感想について述べさせていただきたいと思います。

<良いと思う点>

私は今までWindows環境に慣れていましたが、Linuxベースのシステムを本格的に利用するのは、この講座が初めてです。講座を通じて複数のプラットフォームに触れられる、と言うのは非常に良い機会になると思います。また、Linuxベースでありながら、GUIをデフォルトで採用しているのは、初めてLinuxに触れる人にも抵抗が少なく良いことだと思います。また、大阪大学ポータル等のウェブサイトも、必要な情報を素早く検索できるシステムであり、便利だと思います。特にWebメールは重宝しています。

<気になる点>

システムを利用して気になった点もいくつかありますので、それについても述べさせていただきたいと思います。

#### 1. C、C++の開発ツールが無い

メニューの中に「開発ツール」の項目があり、その中にIDEであるEclipseは入っていましたが、C言語のコンパイラが発見できませんでした。gcc等のC言語の開発ができるコンパイラが欲しいと思いました。

#### 2. インストールされているソフトウェアのアップデートを行って欲しい

現在、ブラウザとして、システムにはMozillaがインストールされていますが、不具合や脆弱性攻撃の対策の意味もこめてFirefox等の最新ソフトウェアにアップデートして欲しいと思います。

\*\*\*\*\*

授業でサイバーメディアセンターの情報教育用システムを利用して、最初はLinuxを使用するのが初めてだったので少し戸惑いを覚えました。また私の場合、中高までの情報授業と違うと感じたのは、中高は自分のフォルダにアクセスするには毎回自分の使用しているコンピューターを使わねばならず、またその気になれば他人のフォルダにアクセスすることもできたのに対し、大学のシステムは全くその正反

対だったことであり、大学と言う規模の大きさを感じました。

授業に関しては、それまでは使用したことのないアプリケーション、また行ったことのない内容（特に HaConv の利用）で新鮮に感じると共に、自分ではまだコンピューターに慣れていない方だとは思っていましたがまだまだ自分の知らないことがあるものだと思います。また、私が特に役に立つと思ったのは図書館利用システムであり、家にいながらにして探している本の有無を調べられるのが非常に便利だと感じました。

\*\*\*\*\*

はじめて Windows 以外を使いました。文を打ち込むときに Back space をすると平仮名一文字を構成する二つのアルファベットが消えることに驚きました。また、Windows ではあまり機能を使ったことがないので今後、試してみたいと思います。

また今まで行き当たりばったりで使っていたコンピュータのシステムを少し知りました。大学でもおそらく殆んどの情報を管理するコンピュータ、薄い画面の裏側には何も無いのに無限のように広がるインターネットの世界、送信ボタンを押すだけで簡単に送れるメール、押せば文字が画面に表示されること、絵や図が描けること、・・・現代の生活にはなくては立ち行かない存在であるのにコンピュータのことを全くといっていいほど知らないことは良く考えればおかしなことだとも思います。仕組みがなかなか難しいですができるだけ理解していきたいと思います。そしてコンピュータと言えども万能ではないことを忘れないようにしたいと思います。